

2021年度 第3四半期決算報告

地球に提案だ。



挑戦の先に答えはある。

ZEON

2022年1月31日
日本ゼオン株式会社

- P.2 総括とセグメントの概況
- P.3 事業環境（為替・主原料推移）
- P.5 業績サマリー（全体）
- P.6 業績サマリー（セグメント別）
- P.8 エラストマー素材 概況
- P.9 エラストマー素材 P/L
- P.10 エラストマー素材 営業利益差異
- P.13 高機能材料 P/L
- P.14 高機能材料 営業利益差異
- P.16 高機能ケミカル事業：電池材料の状況
- P.17 高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
- P.18 高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
- P.20 B/S概要
- P.21 C/F概要
- P.22 2021年度下期 事業環境
- P.24 2021年度下期 業績予想
- P.25 2021年度 配当金予想

【総括】

- ◆ Q3連結実績は前年同期比で増収増益、前期比で減収増益
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大により、調達に軽微な影響はあるも生産への影響はない

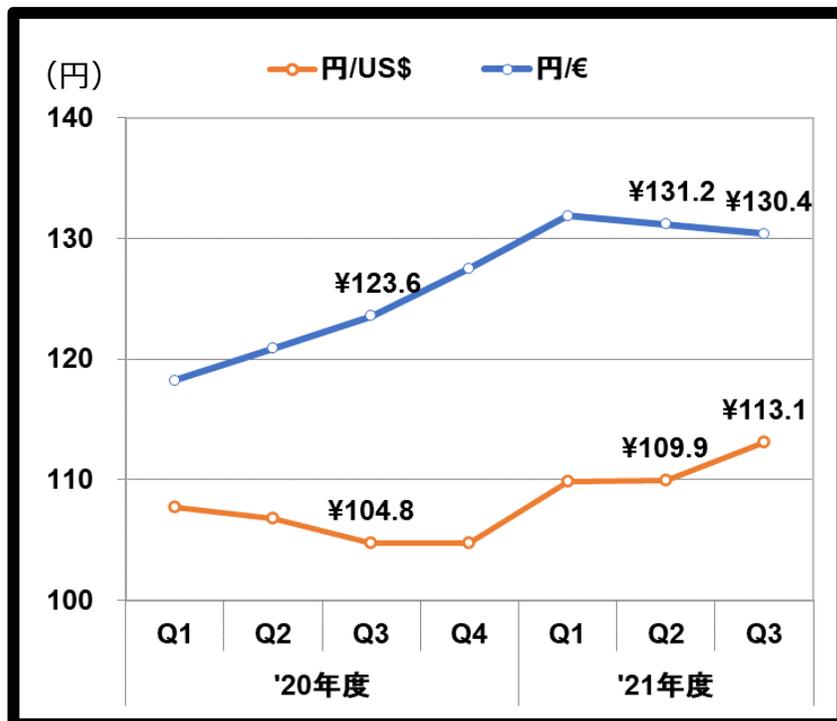
【エラストマー素材の概況】

- ◆ 主原料価格高騰に伴い販売価格は上昇したが、ラテックス出荷減等との相殺により前期比で売上高は減少、営業利益は増加
- ◆ コンテナ不足や船繰り難の影響で、欧米向け中心に出荷に遅れ

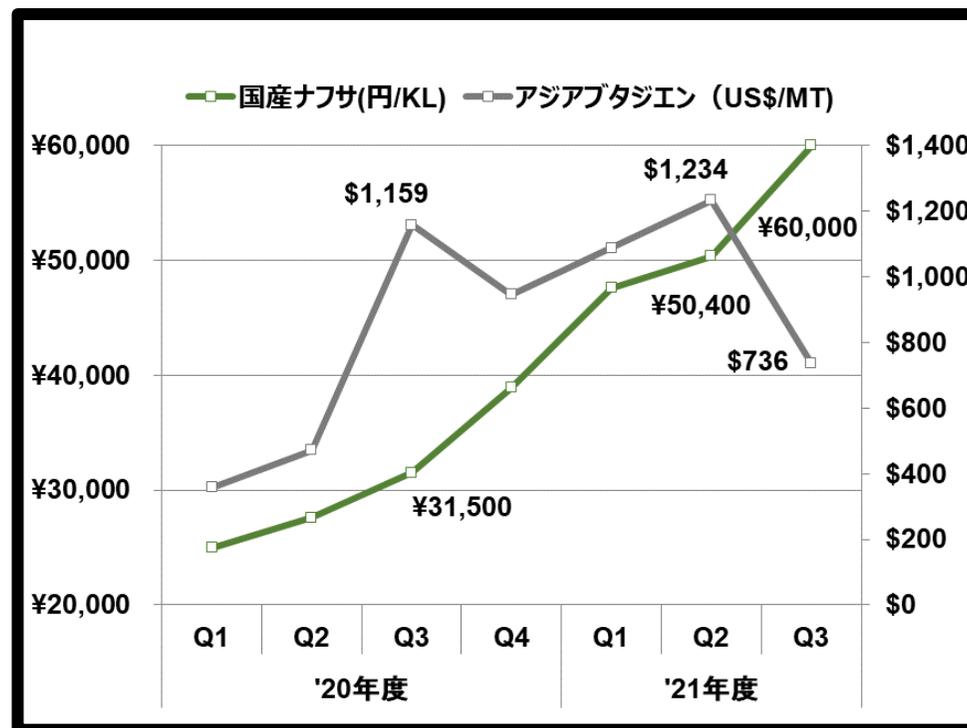
【高機能材料の概況】

- ◆ 高機能樹脂は半導体不足等の影響で出荷量が伸び悩み、前期比で売上高は減少、営業利益は横ばい
- ◆ 高機能ケミカルのうち、電池材料はQ4に向けて回復基調

【為替推移】



【主原料推移】



		2020年度 Q3	2021年度 Q2	2021年度 Q3	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥104.8	¥109.9	¥113.1	+8%	+3%
	円/€	¥123.6	¥131.2	¥130.4	+6%	△1%
主原料	国産ナフサ/KL	¥31,500	¥50,400	¥60,000	+90%	+19%
	アジアブタジエン/MT	\$1,159	\$1,234	\$736	△36%	△40%

- P.2 総括とセグメントの概況
- P.3 事業環境（為替・主原料推移）

- P.5 業績サマリー（全体）**
- P.6 業績サマリー（セグメント別）**

- P.8 エラストマー素材 概況
- P.9 エラストマー素材 P/L
- P.10 エラストマー素材 営業利益差異

- P.13 高機能材料 P/L
- P.14 高機能材料 営業利益差異
- P.16 高機能ケミカル事業：電池材料の状況
- P.17 高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
- P.18 高機能樹脂事業：光学フィルムの状況

- P.20 B/S概要
- P.21 C/F概要
- P.22 2021年度下期 事業環境
- P.24 2021年度下期 業績予想
- P.25 2021年度 配当金予想

(単位：億円)

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2020年度 Q3累計	2021年度 Q3累計	対前年 同期比
	2020年度 Q3	2021年度 Q2	2021年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減			
売上高	789	919	897	+108	△22	2,163	2,688	+525
営業利益	112	111	115	+3	+4	211	364	+153
経常利益	120	117	125	+6	+8	229	391	+162
当期純利益	93	83	90	△3	+6	174	274	+99

- 前年同期比 : 売上高 +108億円、営業利益 +3億円
- 前期比 : 売上高 △22億円、営業利益 +4億円

注記：海外関係会社の2021年7～9月実績がQ3連結決算に反映されています。

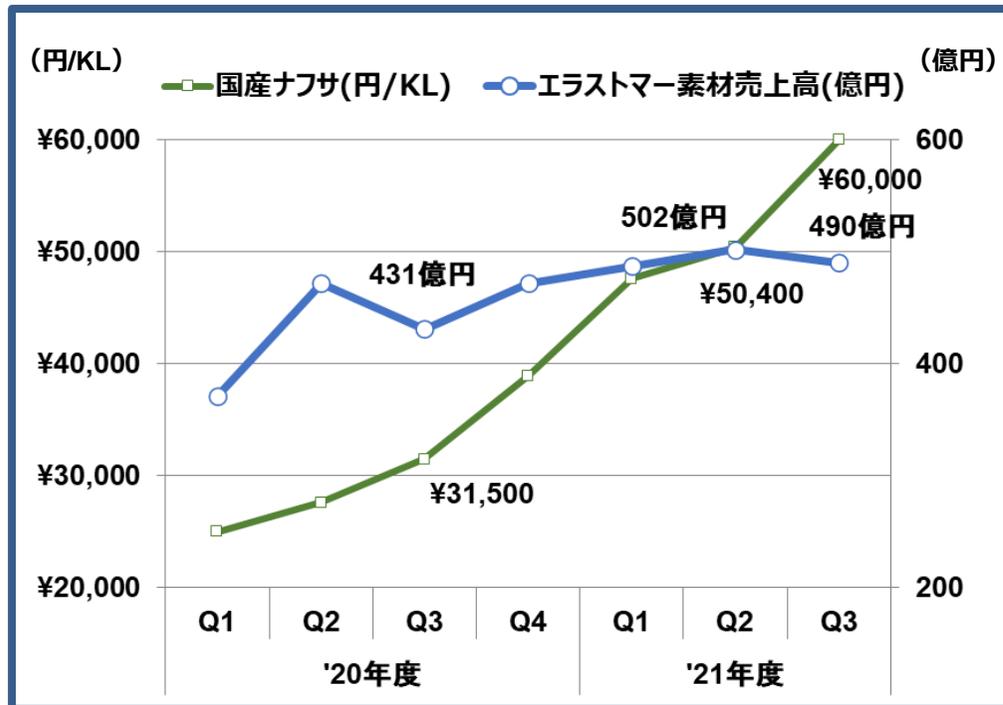
(単位：億円)

【売上高】	2020年度 Q3	2021年度 Q2	2021年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減
エラストマー素材	431	502	490	+59	△11
高機能材料	237	289	262	+25	△27
その他の事業、消去等	121	128	144	+24	+16
売上高合計	789	919	897	+108	△22

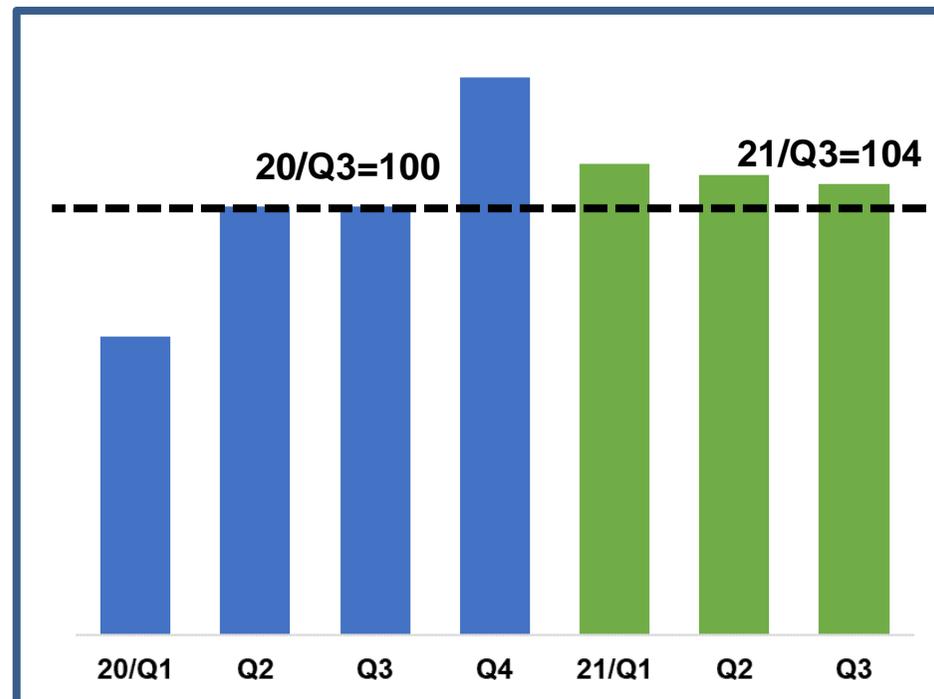
【営業利益】	2020年度 Q3	2021年度 Q2	2021年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減
エラストマー素材	45	48	51	+6	+3
高機能材料	66	63	64	△2	+1
その他の事業、消去等	1	1	△0	△1	△1
営業利益合計	112	111	115	+3	+4

- P.2 総括とセグメントの概況
- P.3 事業環境（為替・主原料推移）
- P.5 業績サマリー（全体）
- P.6 業績サマリー（セグメント別）
- P.8 **エラストマー素材 概況**
- P.9 **エラストマー素材 P/L**
- P.10 **エラストマー素材 営業利益差異**
- P.13 高機能材料 P/L
- P.14 高機能材料 営業利益差異
- P.16 高機能ケミカル事業：電池材料の状況
- P.17 高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
- P.18 高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
- P.20 B/S概要
- P.21 C/F概要
- P.22 2021年度下期 事業環境
- P.24 2021年度下期 業績予想
- P.25 2021年度 配当金予想

【国産ナフサ価格とエラストマー素材売上高推移】



【合成ゴム出荷量推移】



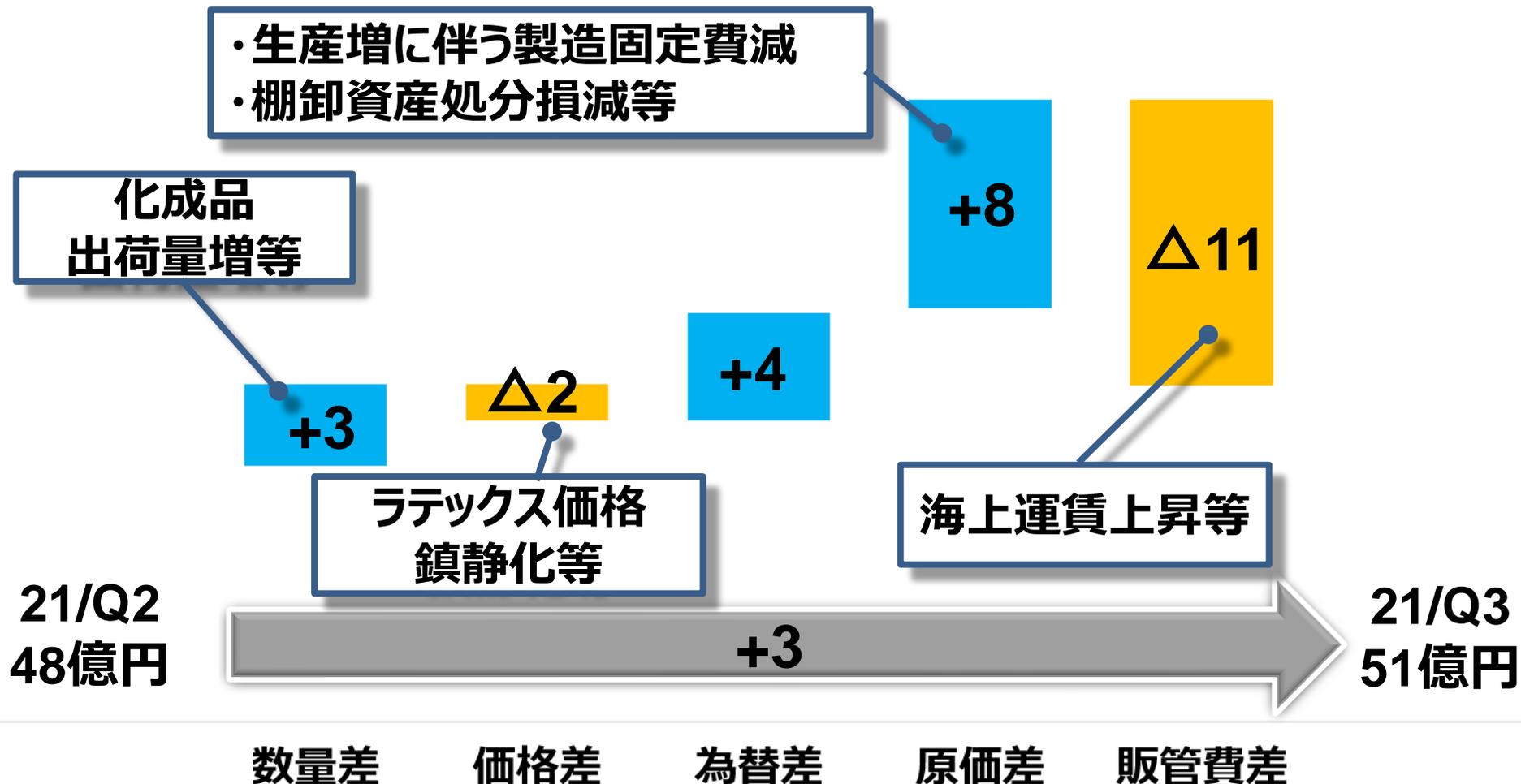
- 国産ナフサ価格上昇に伴い販売価格の改定が進むも、ラテックス出荷減等と相殺され、売上高は減少
- 合成ゴムの需要は堅調だが、コンテナ不足等の影響で出荷量は前期並み

(単位：億円)

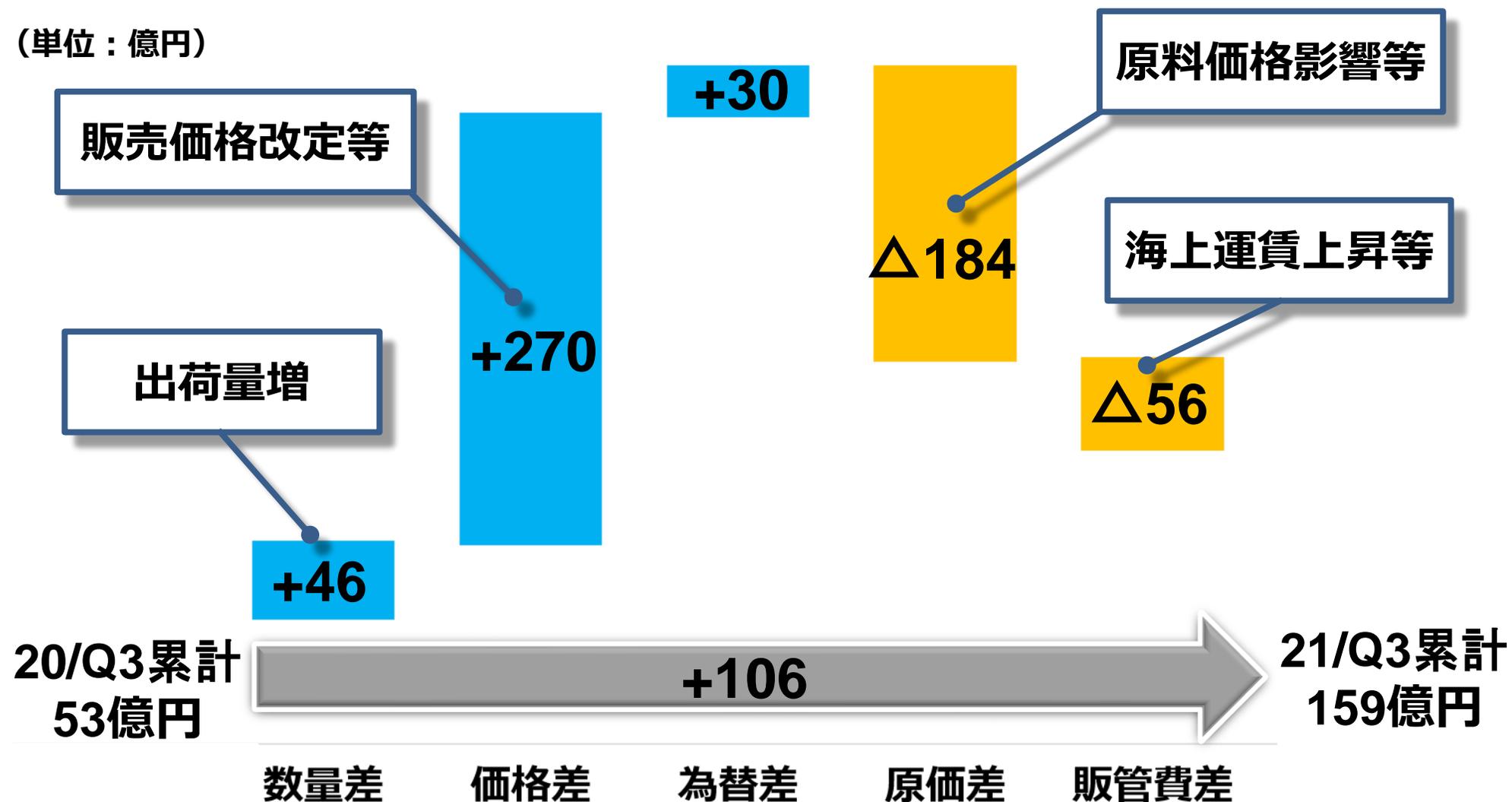
	2020年度 Q3	2021年度 Q2	2021年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (20/3=100)	100	95	96	△ 4 pt	△ 4 %	1 pt	1 %
合成ゴム	100	105	104	4 pt	4 %	△ 1 pt	△ 1 %
ラテックス	100	97	80	△ 20 pt	△ 20 %	△ 17 pt	△ 17 %
化成品	100	71	92	△ 8 pt	△ 8 %	21 pt	30 %
売上高	431	502	490	59	14 %	△ 11	△ 2 %
合成ゴム	286	325	325	39	14 %	0	0 %
ラテックス	45	68	55	9	20 %	△ 13	△ 20 %
化成品	85	101	103	17	20 %	2	2 %
その他・消去	15	8	8	△ 7	△ 48 %	△ 0	△ 1 %
営業利益	45	48	51	6	13 %	3	7 %
営業利益率	10%	10%	10%				

- **出荷量** : コンテナ不足、船繰り難等の影響でYoYでは減少、QoQではラテックスが流通在庫調整で減少
- **売上高** : ラテックス価格鎮静化等の影響によりQoQで減少
- **営業利益** : 化成品の売上高増、特殊ゴム出荷量増により増加

(単位：億円)



(単位：億円)



- P.2 総括とセグメントの概況
- P.3 事業環境（為替・主原料推移）
- P.5 業績サマリー（全体）
- P.6 業績サマリー（セグメント別）
- P.8 エラストマー素材 概況
- P.9 エラストマー素材 P/L
- P.10 エラストマー素材 営業利益差異
- P.13 **高機能材料 P/L**
- P.14 **高機能材料 営業利益差異**
- P.16 **高機能ケミカル事業：電池材料の状況**
- P.17 **高機能樹脂事業：光学樹脂の状況**
- P.18 **高機能樹脂事業：光学フィルムの状況**
- P.20 B/S概要
- P.21 C/F概要
- P.22 2021年度下期 事業環境
- P.24 2021年度下期 業績予想
- P.25 2021年度 配当金予想

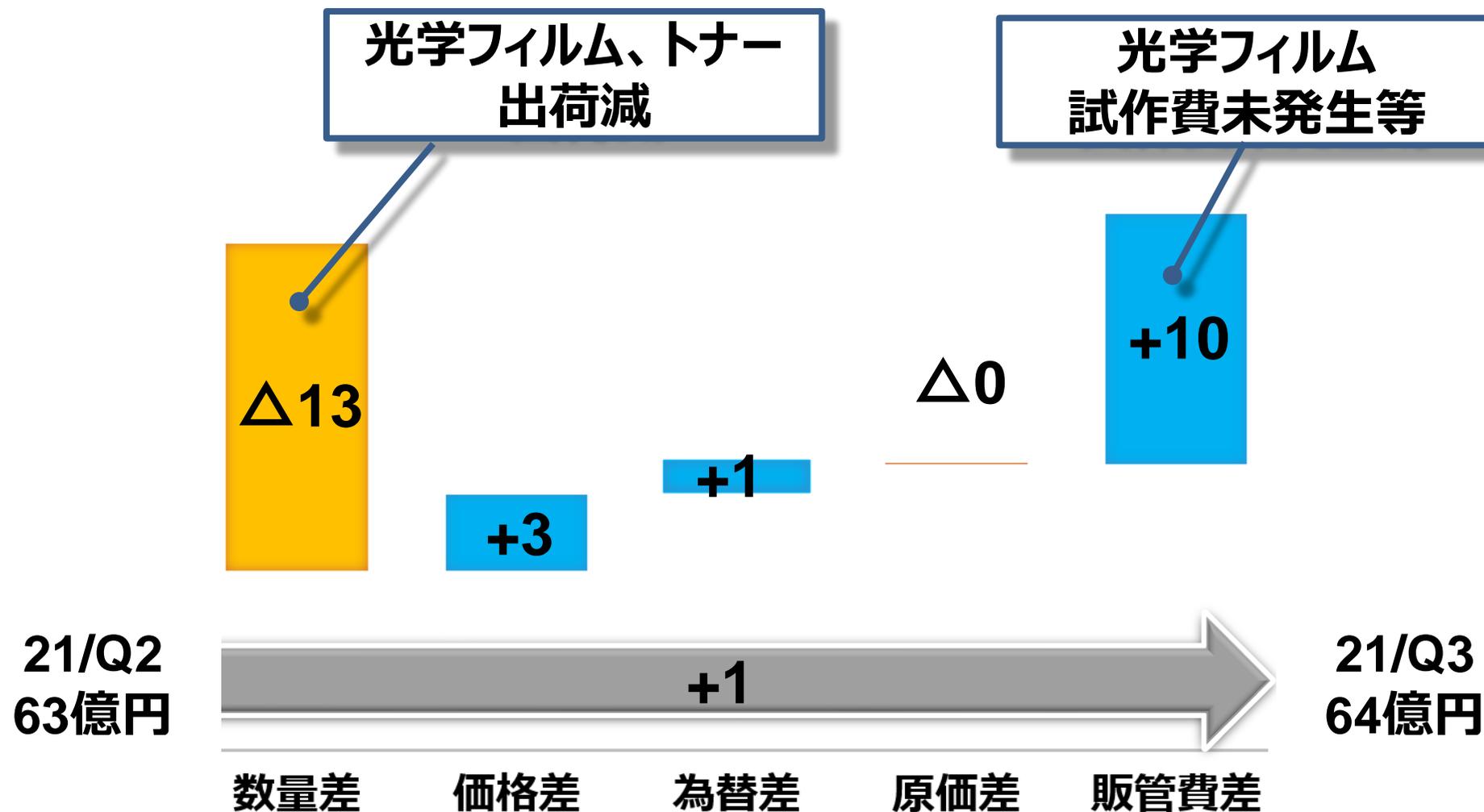
(単位：億円)	2020年度 Q3	2021年度 Q2	2021年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	237	289	262	25	11 %	△ 27	△ 9 %
※ 高機能樹脂	154	180	159	5	3 %	△ 20	△ 11 %
※ 高機能ケミカル	69	97	90	21	31 %	△ 7	△ 7 %
メディカル他	14	13	13	△ 1	△ 7 %	△ 0	△ 2 %
営業利益	66	63	64	△ 2	△ 3 %	1	2 %
営業利益率	28%	22%	24%	※ 高機能樹脂 : 光学樹脂、光学フィルム 高機能ケミカル : 電池材料、化学品、電子材料、トナー			

■ 売上高

- 高機能樹脂 : QoQで20億円減少、YoYは5億円増加
光学フィルム、光学樹脂のモバイル端末向けQoQ出荷量が半導体不足の影響で減少
- 高機能ケミカル : QoQで7億円減少、YoYは電池中心に21億円増加
トナーは顧客の稼働率減とQ2に先行出荷した影響でQoQ出荷量減

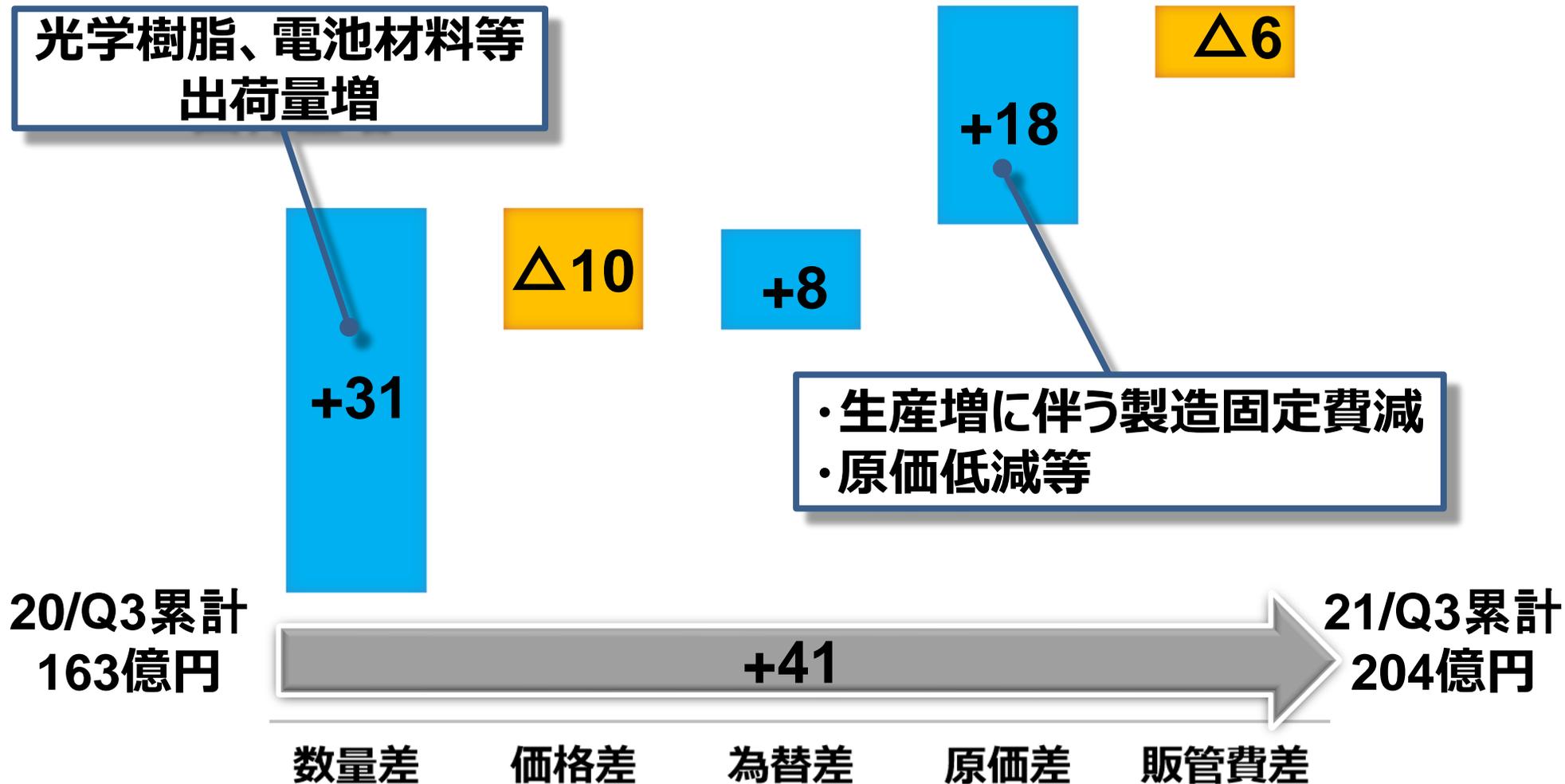
■ 営業利益は高機能材料全体でQoQ横ばい

(単位：億円)



高機能材料事業：営業利益差異 (YoY累計)

(単位：億円)



	YoY	QoQ	YoY累計
EV向け	164%	128%	179%
民生他向け	72%	71%	96%
全体	132%	111%	147%

■ EV向け

中国・欧米向けともに需要は堅調

■ 民生他向け

家電およびモバイル端末向け需要は、半導体不足の影響もあり一服感
産業用途（ESS）は流通在庫調整等でQ3出荷減も、需要は堅調

	YoY	QoQ	YoY累計
光学用途向け	91%	90%	120%
医療、その他向け	91%	102%	102%
全体	91%	97%	108%

- 光学用途向け
半導体不足によりスマートフォン向けの需要鈍化、
レンズユニット向けは流通在庫調整により出荷減
- 医療、その他向け
需要は堅調、Q4に更なる出荷増を見込む

	YoY	QoQ	YoY累計
中小型向け	75%	78%	96%
大型向け	106%	98%	108%
全体	98%	93%	105%

■ 中小型向け

Q2への一部先行出荷を含むも、モバイル端末向けは半導体不足による影響で出荷減

■ 大型向け

中国市場向けを中心に需要は堅調、QoQはほぼ横ばい

- P.2 総括とセグメントの概況
- P.3 事業環境（為替・主原料推移）
- P.5 業績サマリー（全体）
- P.6 業績サマリー（セグメント別）
- P.8 エラストマー素材 概況
- P.9 エラストマー素材 P/L
- P.10 エラストマー素材 営業利益差異
- P.13 高機能材料 P/L
- P.14 高機能材料 営業利益差異
- P.16 高機能ケミカル事業：電池材料の状況
- P.17 高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
- P.18 高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
- P.20 B/S概要**
- P.21 C/F概要**
- P.22 2021年度下期 事業環境**
- P.24 2021年度下期 業績予想**
- P.25 2021年度 配当金予想**

総資産5,077億円 (+589)

【流動資産】 +582億円

- ◆ 現預金 +147億円
- ◆ 売掛債権 +70億円
- ◆ 未収入金 +176億円
- ◆ 棚卸資産 +173億円

流動資産
2,915
(+582)

固定資産
2,163
(+7)

【固定資産】 +7億円

- ◆ 有形固定資産 +38億円
- ◆ 投資有価証券▲26億円

【流動負債】 +473億円

- ◆ 買入債務 +337億円
- ◆ 社債を長期から短期に振替 +100億円

流動負債
1,611
(+473)

固定負債 245 (△123)

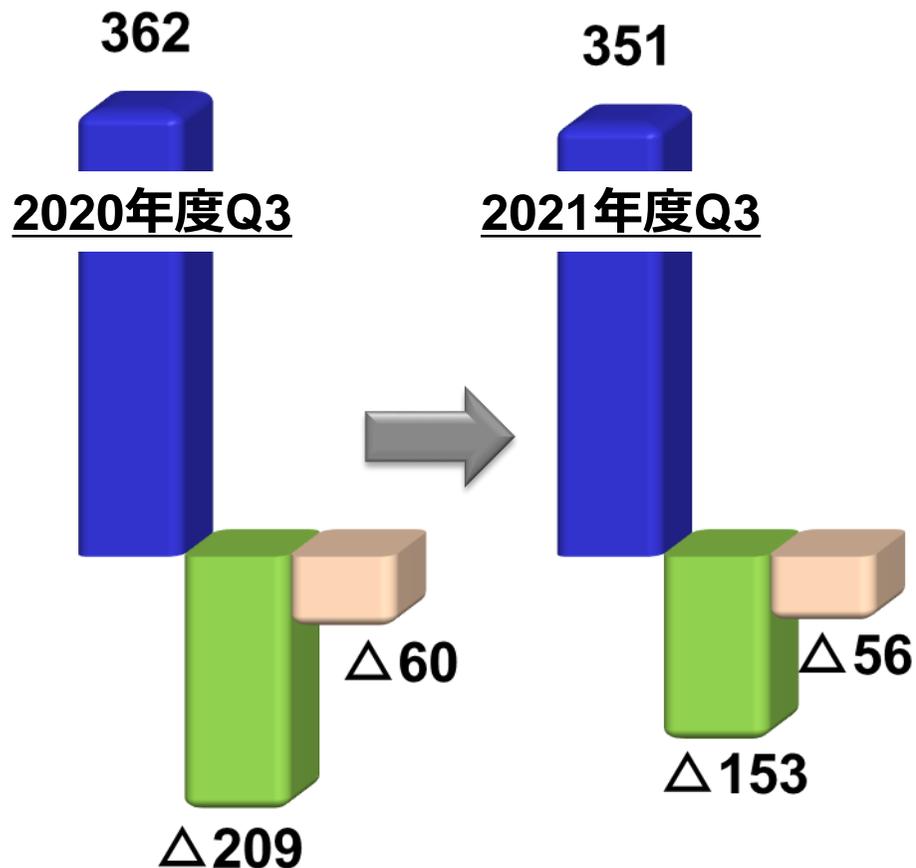
純資産
3,221
(+239)

【純資産】 +239億円

- ◆ 有利子負債 190億円 (±0)
- ◆ 自己資本比率 62.8% (▲3.0)
- ◆ D/Eレシオ 0.06 (±0.00)

社債を長期から短期に振替▲100

(単位：億円)



(単位：億円)

	2020年度Q3	2021年度Q3
営業CF	362	351
投資CF	△ 209	△ 153
フリーCF	152	198
財務CF	△ 60	△ 56
CF	92	143

■ 営業CF
 ■ 投資CF
 ■ 財務CF

エラストマー 素材 (億円)	Q3		Q4		コメント
	売上 実績	営利 実績	売上 予想	営利 予想	
	490	51	511	34	10/29通期予想に対し、 売上高+160 営業利益+29
合成ゴム					Q4出荷増で売上高増加と予想 するも、期末費用発生で営利減
ラテックス					Q3後半から流通在庫滞留、 価格鎮静化
化成品					主力工場の定期検査後出荷増も 海上運賃高騰

※Q4の動向は、Q3末を起点とした当社見立て

- Q3 : 10/29予想に対し全体として上振れ
- Q4 : Q3実績に対して増収予想も、期末費用発生で減益を予想

		Q3		Q4		
高機能材料 (億円)		売上実績	営利実績	売上予想	営利予想	コメント
			262	64	286	59
	光学樹脂					スマホ向けは伸び悩むも、医療他 用途向けQ4出荷増の見込
	光学フィルム					モバイル向け低調、Q4に試作費 発生の見込
	電池材料					EV向け需要回復基調

※Q4の動向は、Q3末を起点とした当社見立て

- Q3 : 10/29予想に対し光学フィルム低調、電池材料は回復基調
- Q4 : Q3実績に対して増収予想も、期末費用発生で減益を予想

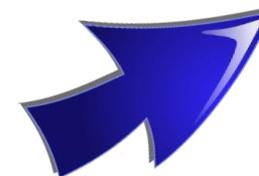
(単位：億円)

【売上高】	下期予想公表値 (10/29時点)	下期予想修正値 (1/31時点)	増減
エラストマー素材	841	1,001	+160
高機能材料	460	549	+89
その他事業・消去等	239	289	+50
合計	1,540	1,839	+299

【営業利益】	下期予想公表値 (10/29時点)	下期予想修正値 (1/31時点)	増減
エラストマー素材	56	85	+29
高機能材料	118	123	+5
その他事業・消去等	▲ 4	▲ 3	+1
合計	170	205	+35

- 下期業績予想を売上高1,839億円、営業利益205億円に修正
(4Q前提：US\$=115円、€=131円、国産ナフサ=¥57,500、アジアブタジエン=US\$817)
- 通期業績予想は売上高3,630億円、営業利益455億円

【配当金予想、単位：円】



安定的に持続的な
配当政策を継続
(方針に変更なし)

**期末配当予想を15円（前回予想+3円）に修正し、
年間配当予想は28円に修正（対前年度+6円）**

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

2021年度 通期決算発表	2022年4月27日（水）を予定
--------------------------	-------------------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

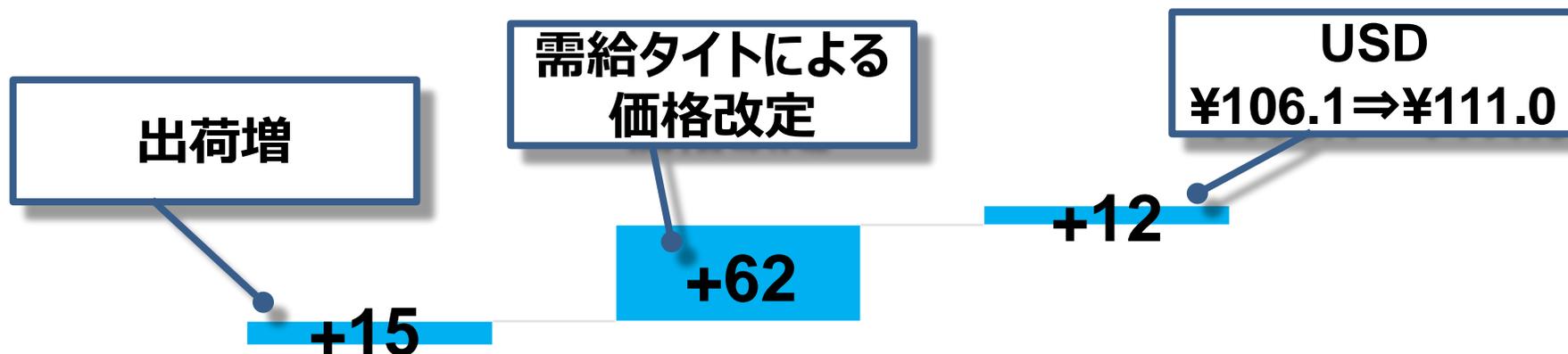
ZEON

日本ゼオン株式会社

以上

参考：ラテックス 売上高差異（YoY累計）

（単位：億円）



2020年度 Q3	2021年度 Q2	2021年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
--------------	--------------	--------------	-----------	------------	-----------	------------

単価（20/3=100）

ラテックス	100	154	150	50 pt	50 %	△ 4 pt	△ 3 %
-------	-----	-----	-----	-------	------	--------	-------

2021年度Q3 (2021年度Q2比)				
事業	出荷	売上	営業利益	事業トレンド
合成ゴム				自動車用途サプライチェーン在庫積み増し 特殊ゴムを中心に需要は堅調
ラテックス				手袋用ラテックスの市場流通在庫が増加 販売価格も鎮静化の基調
化成品				eコマース向け需要堅調も物流長期化 水島定修が終わり固定費減

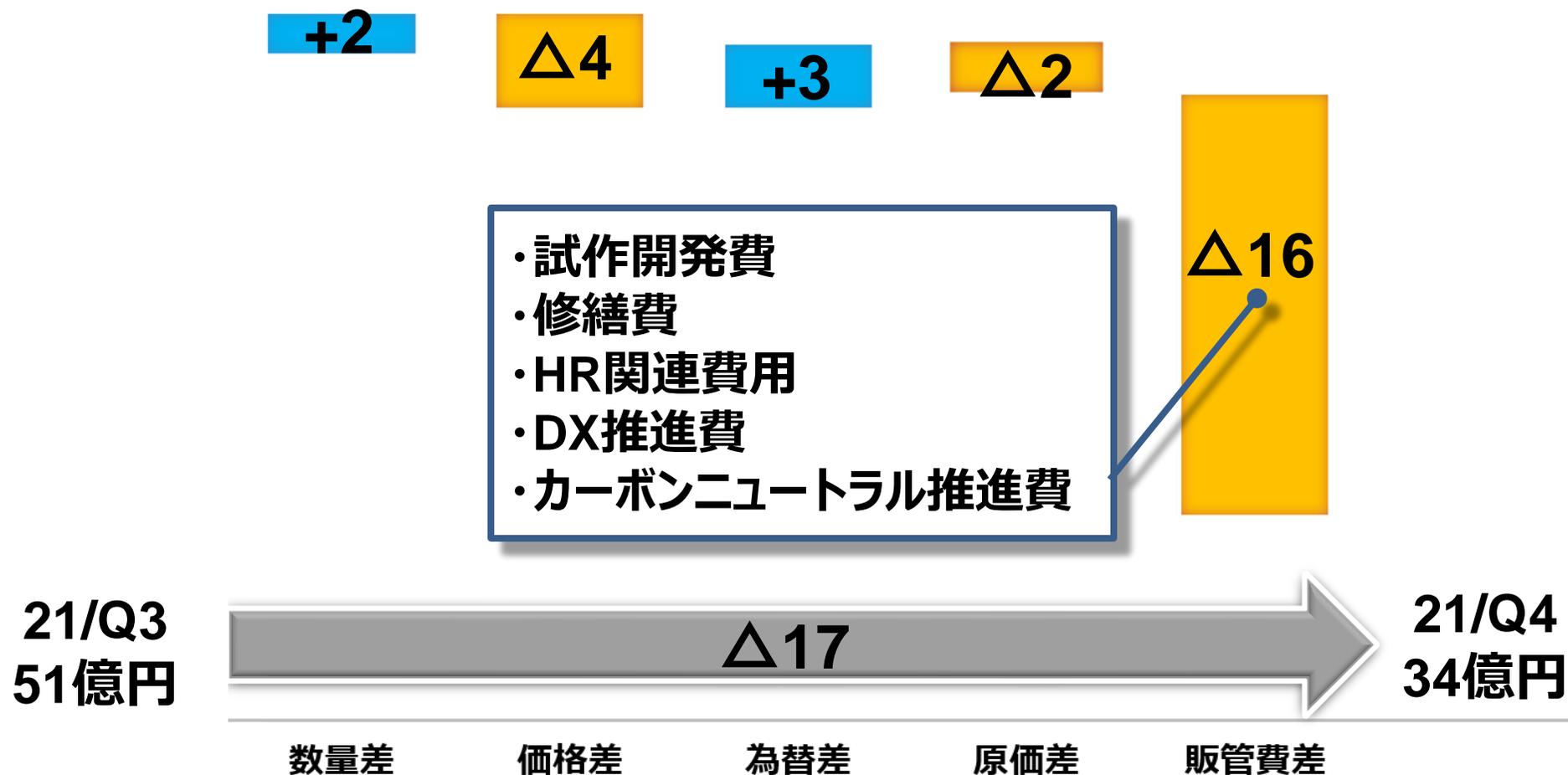
		2021年度Q3 (2021年度Q2比)			
	事業	出荷	売上	営業利益	事業トレンド
高機能ケミカル	化学品	→	→	↗	香料・特殊溶剤ともに需要堅調 水島定修が終わり固定費減
	電子材料	→	→	→	大きな変化なし
	トナー	↘	↘	↘	一部Q2先行出荷等
	電池材料	↗	→	→	EV市場拡大に伴い出荷増 売上・営業利益は構成差でステイ
高機能樹脂	光学樹脂	↘	↗	↗	半導体不足等で出荷減 医療その他用途堅調
	光学フィルム	↘	↘	↘	中小型向け一部Q2先行出荷

用途	市場動向		状況
	Q3	Q4	
大型TV			パネル価格下落も55インチ以上の市場は堅調を維持
スマートフォン			半導体不足の影響で生産調整
タブレット			半導体不足の影響で生産調整
ノートPC			需要堅調

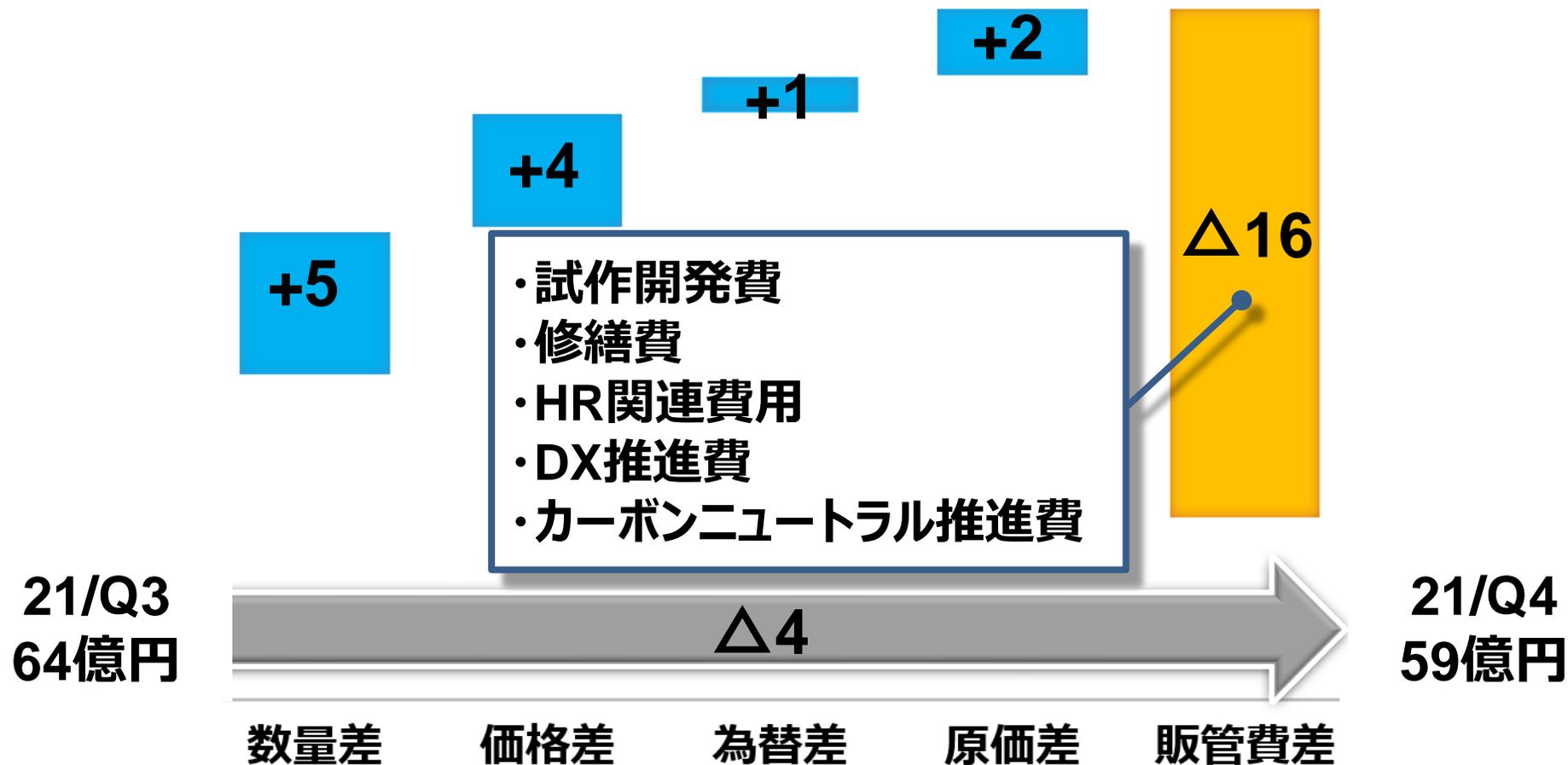
※Q4の市場動向は、Q3末を起点とした当社見立て

参考：エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (3Q/4Q) ZEON

(単位：億円)



（単位：億円）



アップサイド

物流混乱解消

為替の円安化

コンテナ・船の流動化

円安ドル高

物流コスト減

円安ユーロ高

ダウンサイド

原料状況悪化

半導体不足長期化

ナフサ高騰

新型コロナ再拡大

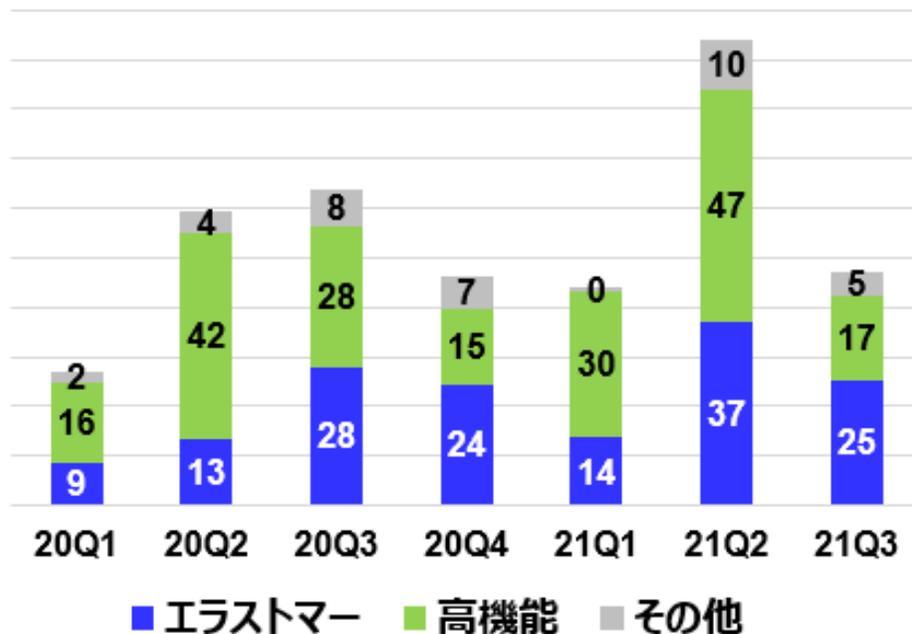
ブタジエン下落

モバイル端末再減産

参考：資本的支出、減価償却費の推移

(単位：億円)

【資本的支出】

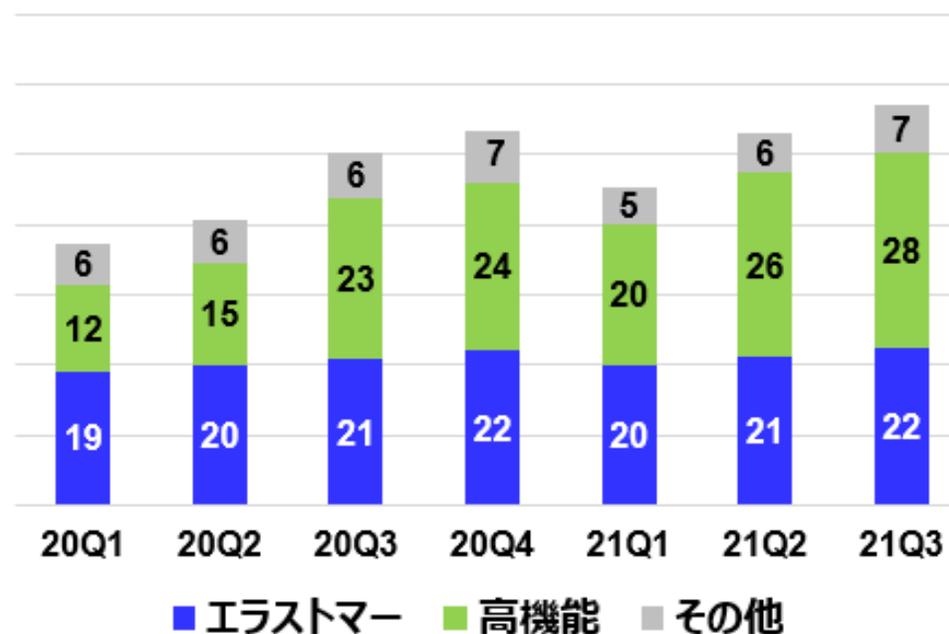


20年度実績
196億円



21年度予想
220億円

【減価償却費】



20年度実績
182億円



21年度予想
195億円